

変えよう鎌ヶ谷!市民が主役 県政通信

千葉県議会議員

岩波はつみ

発行日:2024,11,25(No69)

発行者:千葉県議会議員 岩波初美

■岩波初美事務所■

〒273-0124 鎌ヶ谷市中央 1-1-34 前田ビル 3F

電話 047-445-5780 FAX 047-445-5790

メール kamagaya@iwanamihatsumi.com

活動ブログ <https://iwanamihatsumi.com>

【鎌ヶ谷市財政】来年度から財源不足の衝撃
鎌ヶ谷市の中期財政見通しが示された。9月市議会で徳野市議の質問資料として配布されたので目にする事となり、この数年間、鎌ヶ谷市財政をチェックしなかつたので、ここまで切羽詰まっていたとは。新鎌ヶ谷の街が開かれて以降、土地活用の種まきが一切なされず、想定通り、市税収入の元が培われてこなかった結果である。過去の夕張市財政破綻の際も前日まで財政は健全と聞き、突然の宣言で市民は寝耳に水だったという。一刻も早く対策方針説明を求む。



積み立てた基金を取り崩しても 来年度から市は財源不足に 不足額年間11.7億円、市税収入の8%に相当

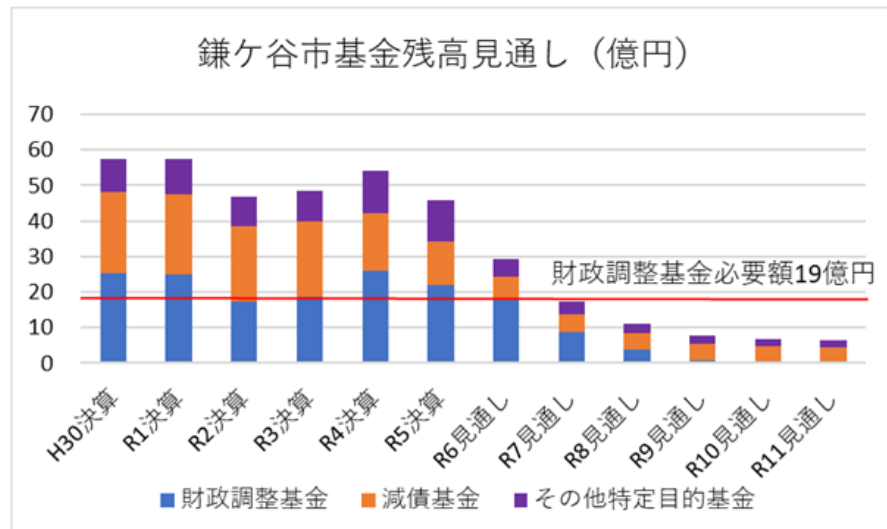
令和7年度～12年度鎌ヶ谷市中期財政見通しを読む。市税額の停滞は、この間20年以上にわたる鎌ヶ谷市政の土地活用抑制の結果として、想定通りに現れ、ついに肌感覚だけでなく数字として明確になった。特に、自治体として死守してきたはずの財政調整基金が、令和11年度にはゼロになるといふ。基金を必要額積むには、来年度からの財源不足は年間11.7億円、市税収入の8%分にもなると示している。

この実態が発生している我が鎌ヶ谷市は、山間部でも過疎地でもない。首都圏に位置し、交通の要所として、誰もが土地活用を期待している場所なのになぜ？その必要を認識しながら、打つべき手を打ってこなかったからに他ならない。鎌ヶ谷市は現実を受け止めて、市民への説明責任と緊急対策体制はとれているのか？

財源が不足すると何が起きるか？千葉県から市財政立て直しの流れを説明受ける。まずは財源確保のために、住民が支払っている受益者負担金(使用料や保険料)の引き上げ、過去から投資してきた道路を優先して仕上げ、地価を上げて税収を上げ、投資を回収する等地道な事業の見直しを行うことで歳入を確実に増やす。

来年度から基金はほぼ積立できず 市民に正しく伝えて理解と協力を得ること

市財政は黒字、目標をクリアしている…等の印象操作コメントを広報で伝えているようでは、市民の理解と協力は得られない。投資に回せる財源を確保して、成果の刈り取りと種まきが急務だ。

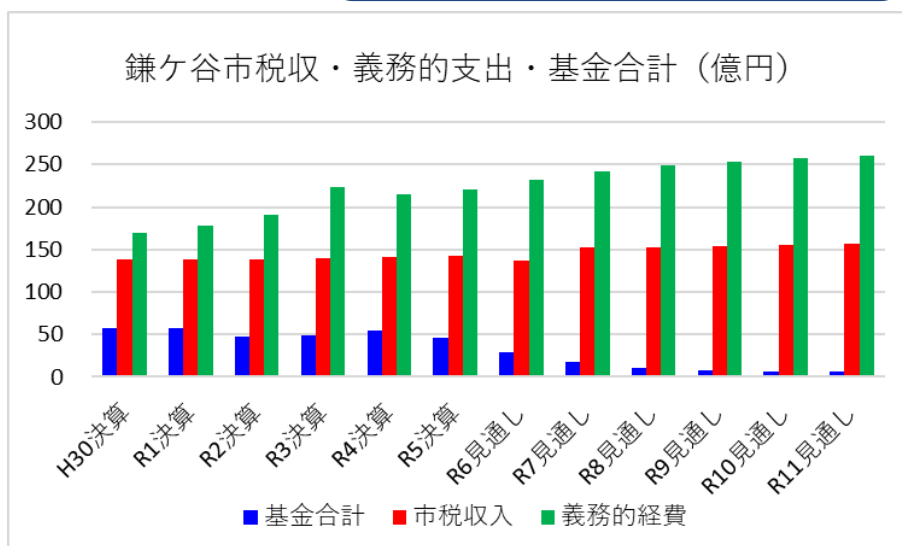


岩波はつみ県政報告会のお知らせ

日時 12月28日(土)10時半～12時半

会場 鎌ヶ谷市中央公民館学習室1

※参加は自由です。直接会場へ



県担当者は「まだできることがある今の段階で、手を付けてこなかった事業見直しを行うこと」と強調する。

市民に受益者負担増やサービスの取捨選択を理解してもらう一方で、そこから生み出される貴重な財源を活かす執行部の誠意を信用してもらわねばならない。財政基盤強化につながる市域への民間投資および、北千葉道路やその接続する市内道路への国・県による投資を遠慮せず呼び込むことで、鎌ヶ谷市の価値は高まるはずである。

災害等に備える財政調整基金ゼロの衝撃

財政調整基金必要額19億円を堅持する～自治体の最も重要な任務である。当基金は、災害や金融情勢の変化等で緊急的に財政出動が必要となった場合に、住民生活を脅かさぬように、自治体規模による必要額が定められている。それが令和11年度にはゼロになるとの緊急事態だ。

子育て支援策としての医療費・給食費が基金を崩して提供すると聞いていたので懸念はしていた。経常的な事業(歳出)は経常的な歳入で賄わねば、事業は維持継続できない。基金がなくなる今後の方針が気になる。

北千葉道路、白井・印西は地下掘割方式で建設するのに・・・なぜ？ 鎌ヶ谷市が建設費の低い高架構造を選ぶ利益はある？

2024年10月26日、27日両日、鎌ヶ谷市総合福祉センター会議室他2会場にて、千葉県北千葉道路担当者を招いて、市民団体 北千葉道路地下化で街づくりの会主催の住民向けの現計画の説明会が実施された。

今から55年前の昭和44年に都市計画決定した北千葉道路がいよいよ事業を進める段階に入り、令和3年にその計画変更がなされた。北千葉道路鎌ヶ谷市区間は高架構造を基本とし、一部、北総鉄道大町駅付近から新京成車両基地を越える2キロ区間を地下に入れる原案が示され、手続きの中で、受け入れ側の鎌ヶ谷市は原案に「意見なし」と見解を示し現計画が決定した。



空を覆う高架の高速道路が欲しいですか？

あれから3年以上経過し、ようやく鎌ヶ谷市民はその意見を事業者である県に直接伝える機会を得ることとなった。「大町から地下で入り白井も地下を走るのに、間の鎌ヶ谷だけなぜ高架にするのか？」「鉄道だけでなく、道路までも空を覆う高架になるのは景観からも避けたい」「船取線直進不可となると、バイパス線は大型車で動かなくなるのでは」等々、各会場では住民からの意見が噴出した。民主主義の手続きには判断できるだけの情報と時間が不可欠で、市民にとってより良い道路を求める場合には、更なる計画変更の手続き制度が備わっている。カードはまだ手元にある。

今後の整備効果分析は、沿線の政策目標があってこそできる

県や国の目的は道路建設であり、そのために費用は少ない手法を選ぶことが正義・公益と考えている。一方、受け入れ側の鎌ヶ谷市の目的は、道路建設による不都合を極力低減させ、道路が走ること

(必要検討項目 令和3年3月 国交省道路計画検討業務報告書より)

- ・鎌ヶ谷区間の慢性的な渋滞解消および全線早期供用を目指し、残区間の北千葉道路(市川～船橋)についての整備効果検討を実施する必要がある。
- ・整備効果検討は、本業務で分析・検討した北千葉道路全線の沿線地域等の課題や政策目標(白帯)に基いた効果分析が必要である。

【ご案内】説明会を受けて市民として未来像をまとめていきましょう。

～北千葉道路と我が鎌ヶ谷市の未来像～集会開催

日時:2025年1月5日(日)14時～15時40分

会場:鎌ヶ谷市中央公民館集会室

主催:北千葉道路地下化で街づくりの会 種田 090-4539-7105

で生まれる利益をまちづくりに活かすことである。そのために必要な投資は当然求めるといふ、国や県とは異なる立場にある。

そこで最も重要なことが、どんな未来の鎌ヶ谷市をつくるのか？今後の道路整備効果の検討は沿線地域の政策目標に基づき行う。要は市の政策目標無しに整備効果分析は成立しない。

新京成基地の越え方が最大課題で全線開通を左右する(国)

国土交通省の北千葉道路検討資料を入手し判ったこととして、新京成車両基地の越え方(高速部は地下を走り一般部464号線は高架で越えるという現計画)が、全線開通の成否を左右する重大事案である点。また、提示されている地下化含む建設コスト比較では、最も技術面で難しいと説明する外環道との地下接続部からのトンネル工事単価(計算済み)と同等額を鎌ヶ谷区間地下工事費に適用している点、コスト計算の精度は当てにならない点。

【児童相談所】松戸市に新設、 松戸・鎌ヶ谷の子供たちに対応 行き過ぎた親子分離の抑制を

令和8年度に松戸市と印西市に新たな児童相談所が、夫々34名ずつの一時保護枠を備えて開設する。増加する児童虐待に対応するものと説明されているが、児童虐待が増加しているのではなく、通報を呼びかけた結果、良かれと思って周囲だけでなく親本人までも子育ての心配事を相談して、やぶ蛇となって保護されるという事例が多発している。特に右のお子さんのように、自閉症で言葉での説明が苦手等発達特性を有する事例は大変多い。不必要な親子分離

を起こさぬよう
学校や保育園に
は防波堤となっ
て守って欲しい。

(仮称)東葛飾児童相談所 イメージ



児相さんは困っている親子、家庭に対して
サポートして下さる相談所だと思っておりましたが
なぜこんなに長い事親子を引き離すのですか？
娘も孫に対している人な事に一生懸命頑張っ
てまいりました。これ以上私達を苦しませないで下さい。
私も人気持を理解して下さいませ。
私の孫も早く帰して下さい。

上記児童は小学6年生で一時保護され、現在高校1年生となる。すでに4年近く、母・祖母との一度の面会も許されていない。

岩波初美(イワナミ ハツミ)経歴

- 1959年(昭和34年)山梨県生まれ 鎌ヶ谷1丁目在住
- 夫・子ども3人・孫4人(岐阜県/大阪府在住)
- 千葉大学教育学部卒業、千葉工業大学大学院修士課程修了。
- 大学卒業後、生活協同組合職員8年、鎌ヶ谷市議会議員4期。NPO法人役員、会社役員を経て、アクアライン800円提言・実現。千葉工業大学特別講義講師11年間務める。鎌ヶ谷市長選挙に3回挑戦。
- 現在 2019年4月より千葉県議会議員、知的障がい者グループホーム職員、NPO法人元気になる福島理事、児相と親子の架け橋千葉の会世話人、児童相談所のあり方を考える地方議員懇談会代表、北千葉道路地下化で街づくりの会顧問